

## 第9回 北千葉道路連絡調整会議

令和元年5月23日

千葉県  
国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

# 1. 前回の連絡調整会議(H30.11.5)

## 【前回の確認事項】

- 北千葉道路(外環～国道16号)の専用部・一般部の基本構造・横断構成、連結位置・構造、接続路線について、計画の考え方を議論し合意。
- 県、沿線市が連携し、概略計画の策定に向け引き続き、地元への情報発信を実施。  
国、県、沿線市で連携し、地域との合意形成を進めながら実施。

## 【今後の検討課題】

- 外環～国道16号間について、計画の考え方にに基づき、引き続き国、県及び沿線市が調整を図りつつ、速やかに概略計画(1/2,500)を策定する。
- 印西～成田間(事業中区間)の速達性・定時性確保の手法について、引き続き県にて検討。

## 2. 前回の連絡調整会議からの動き

年月日	環境影響評価	都市計画	広報WG
H30.12.1			北千葉道路だより (第5号)発行 〔第8回連絡調整会議の概要〕
H31.1～	環境影響評価着手		
H31.1.15			北千葉道路だより (第6号)発行 〔・第3回OH開催 ・環境影響評価の着手〕
H31.2.1 ～2.16			第2回オープンハウス 〔・第8回連絡調整会議の概要 ・アセス、都計手続きの状況〕

## 2. 前回の連絡調整会議からの動き

○ 県・市において、「計画の必要性」等を地元周知。

### ● 広報活動計画

- ・ 広報紙の発行(約30万部、北千葉道路沿線地域新聞折込、沿線市の市役所等で配付・不定期)
- ・ パネル展示等によるオープンハウスの開催

### ● 活動実績

(1) 広報紙(北千葉道路だより)の発行

第5号(平成30年12月1日(土))

- ・ 第8回連絡調整会議の概要

第6号(平成31年1月15日(火))

- ・ 第3回オープンハウスの開催
- ・ 環境影響評価の着手

(2) オープンハウス開催

第3回(平成31年2月1日~2月16日)

- ・ 第8回連絡調整会議の概要
- ・ アセス、都計手続きの状況

### ● 今後の予定

引き続き、適宜広報活動を実施予定。

【広報紙(第6号)表面】

464 ROUTE 北千葉道路だより 第6号(平成31年1月発行) 発行:北千葉道路沿線ワーキンググループ

北千葉道路(市川市から船橋市間)の現在の検討状況等を知っていただくため、パネル展示等によるオープンハウスを開催します

第3回オープンハウスの開催について

- ・現在の検討状況や環境アセスメント手続きの状況などについて、パネル展示などにより、ご説明するオープンハウスを開催しますので、ぜひご来場ください。
- ・会場では、担当スタッフがパネルの説明や、皆さまからのご質問にお答えします。どの会場も内容は同じですので、ご都合のよい日時、場所にどうぞお気軽にお立ち寄りください。

■最新の検討状況は?

- ・北千葉道路の外環(市川市)から国道16号(船橋市)について、平成30年11月5日に第8回北千葉道路連絡調整会議<sup>※</sup>を開催し、計画の考え方(専用部・一般部の基本構造、横断構成、連絡位置・構造等)を検討しました。

※北千葉道路連絡調整会議: 国・県・自治体で構成され、北千葉道路の計画策定に向けて、検討・協議を実施。

オープンハウスとは?

- ・オープンハウスは、パネル展示等により情報をお伝えする場所です。

※担当スタッフが対応できるまでにお時間をいただく場合がございますので、予めご了承ください。

市川市~船橋市 約15km

2月1日(金)、2日(土) 10:00~16:00 船橋市 北部公民館

2月3日(日)、4日(月) 10:00~16:00 松戸市 東部市民センター

2月8日(金)、9日(土) 10:00~16:00 白井市役所 東庁舎

2月11日(月・祝) 10:00~16:00 市川市 道の駅いちかわ

2月12日(火) 10:00~16:00 市川市 大町会館

2月15日(金)、16日(土) 10:00~16:00 鎌ヶ谷市 中央公民館

※なるべく公共交通機関のご利用をお願いします。

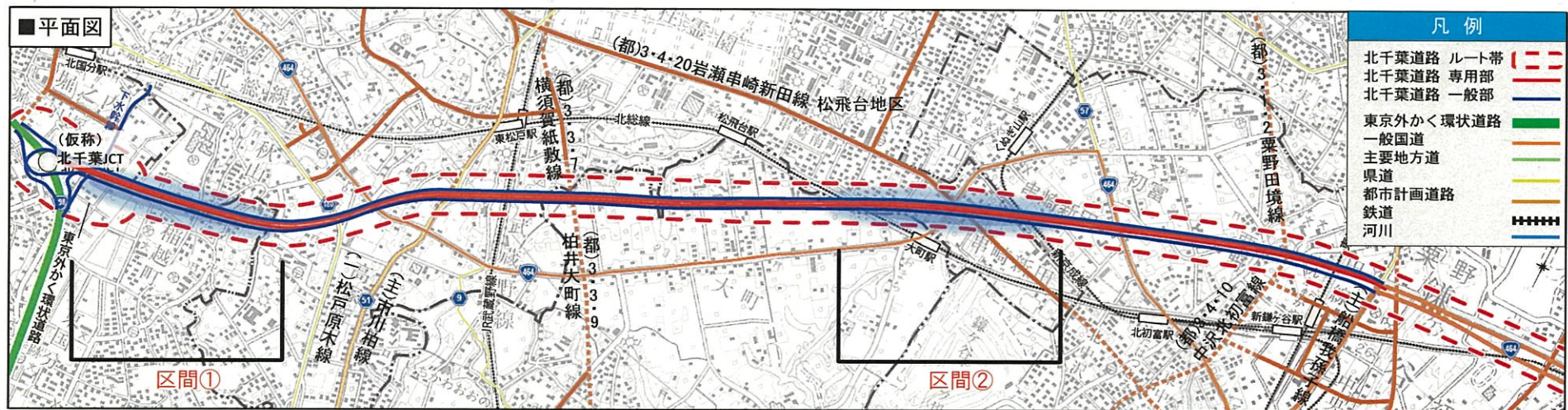
### 3. 第9回連絡調整会議の議題

北千葉道路(外環～国道16号)の専用部・一般部の概略計画(案)

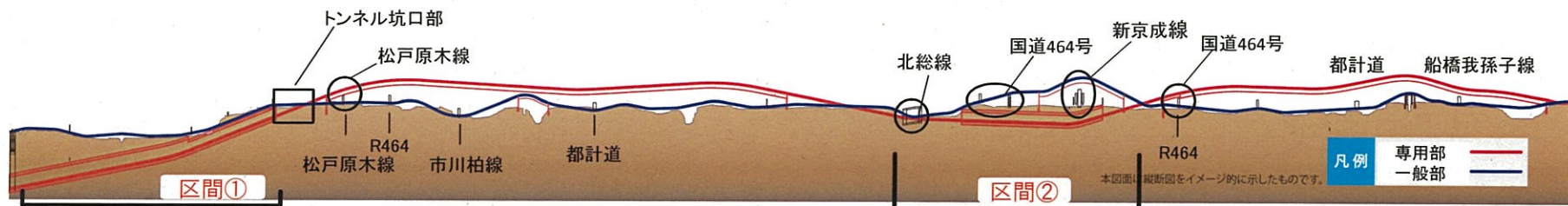
- ①専用部【外環～鎌ヶ谷】
- ②一般部【外環～鎌ヶ谷】
- ③横断構成【外環～鎌ヶ谷】
- ④横断構成【鎌ヶ谷～国道16号】
- ⑤連結位置・構造【外環～国道16号】
- ⑥都市計画変更手続き及び今後の検討課題等

### 3. ①専用部(外環～鎌ヶ谷)

- 専用部については、計画ルートが多数の一般道や鉄道と交差すること、路線の重要性等を踏まえ、市街化が進んでいる地域において、できる限りの早期整備を目指すことなどから、高架構造を基本に計画する。
- 但し、次の区間については、現地の状況や構造基準等を踏まえ、地下構造を基本に計画する。
  - ・外環～県道松戸原木線までの間(約1.6km)【区間①】
  - ・北総線交差部(松飛台地区 約1.7km)【区間②】



■縦断面図



### 3. ②一般部(外環～鎌ヶ谷)

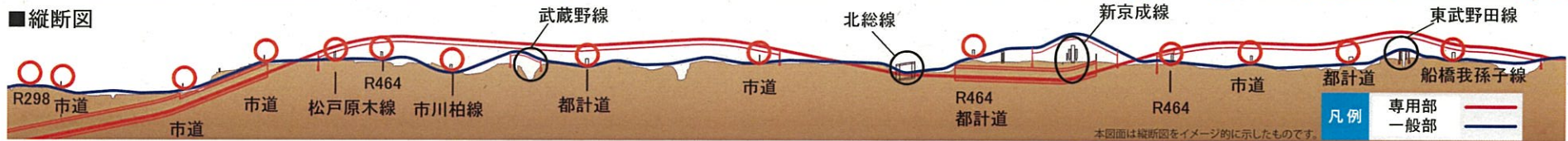
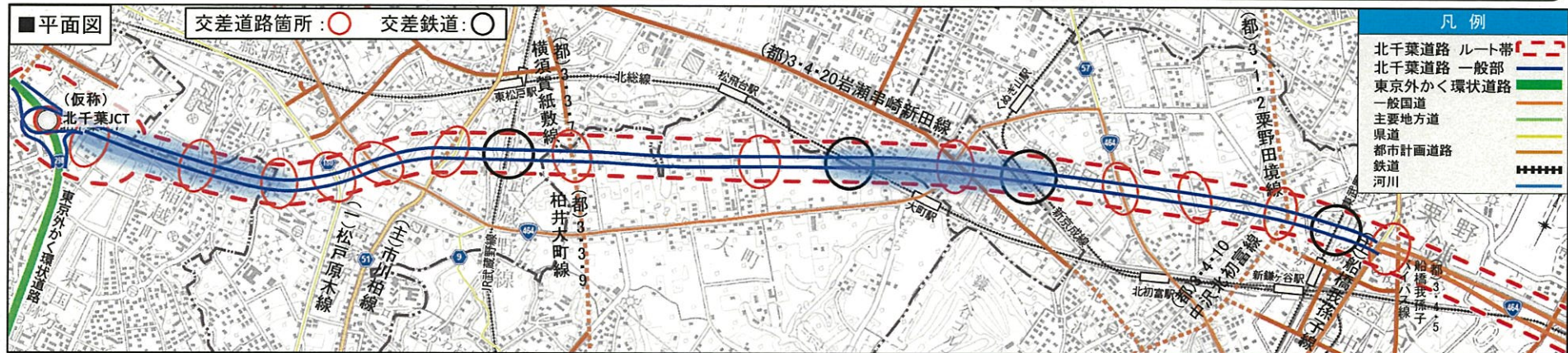
○ 計画ルートは、一般国道464号や県道松戸原木線、船橋我孫子線など地域の幹線交通を担う路線や、沿線地域の生活道路となっている路線など多数の一般道と交差する。

そのため一般部の構造については、一般部の走行性、安全性を確保しつつ、一般道との最適な道路ネットワークを形成するため、地表式を基本として計画し、

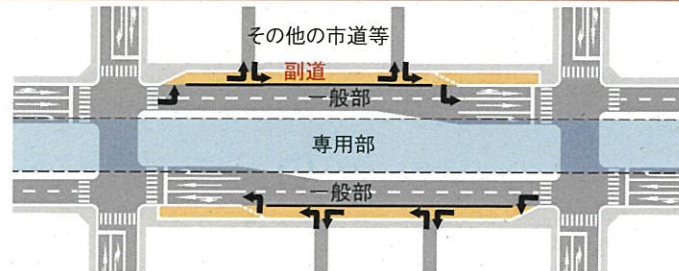
- ・地域の幹線交通を担う路線については、交差点での接続を基本とする。(14箇所)

- ・沿線地域の生活道路となっている路線については、副道を介しての接続を基本とする。

○ 鉄道との交差箇所については、現地の状況や構造基準等を踏まえ、高架あるいは地下構造による立体交差とする。(4箇所)



■ 副道の整備イメージ

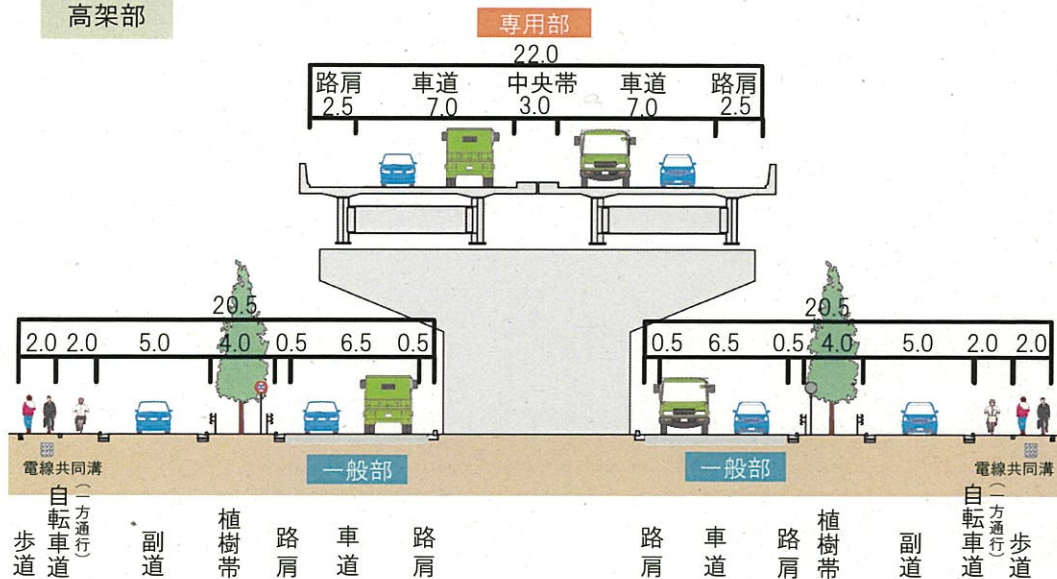


### 3. ③横断構成【外環～鎌ヶ谷】

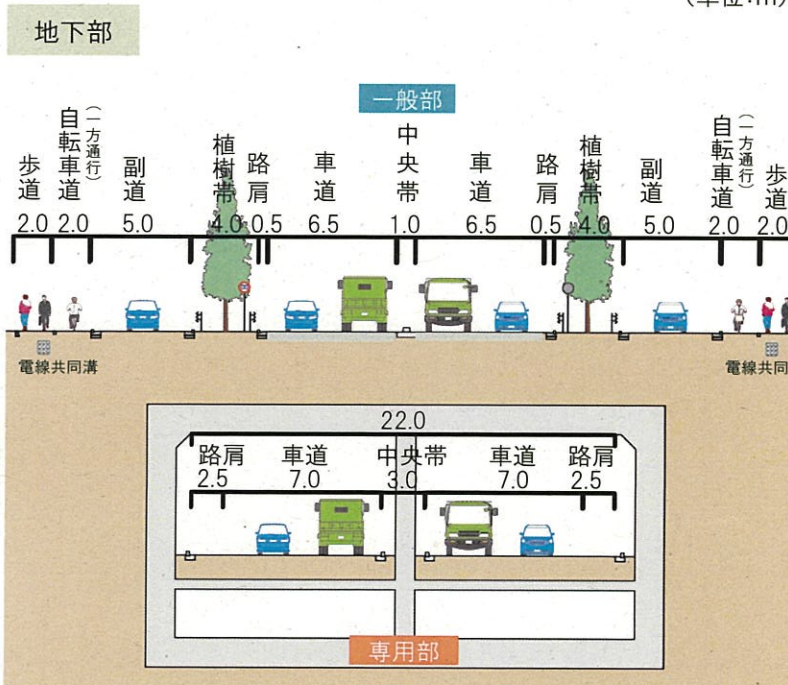
- 計画ルート中央に専用部(中央帯、車道、路肩)、その両側に一般部(路肩、車道、路肩)を配置することを基本とし、構造基準等を踏まえつつ、必要用地を出来る限り小さくするよう計画する。
- 一般部の外側には、中心線から順に、植樹帯、副道、自転車道、歩道(電線共同溝敷設)を計画することを基本とする。各幅員は、必要のない箇所には設置しない。
- 自転車道は、道路の両側に一方通行の形態で計画することを基本とする。
- 歩行者などの横断は、各交差点での平面横断(横断歩道)を基本として計画し、必要に応じて、立体横断施設を計画する。
- 沿道環境を保全するため、必要に応じて、遮音壁や環境施設帯を計画する。

標準横断図

高架部



(単位:m)





### 3. ④横断構成【鎌ヶ谷～国道16号】

- 北総線の両側(上下線分離)に専用部(路肩、車道、路肩)を配置するよう計画する。
- 一般部については、沿線のまちづくり(千葉北部地区新住宅市街地開発事業(千葉ニュータウン事業)により宅地造成)と併せて整備されており、外環～鎌ヶ谷間との道路構造の連続性も保たれることから、現時点での計画の見直しは行わない。

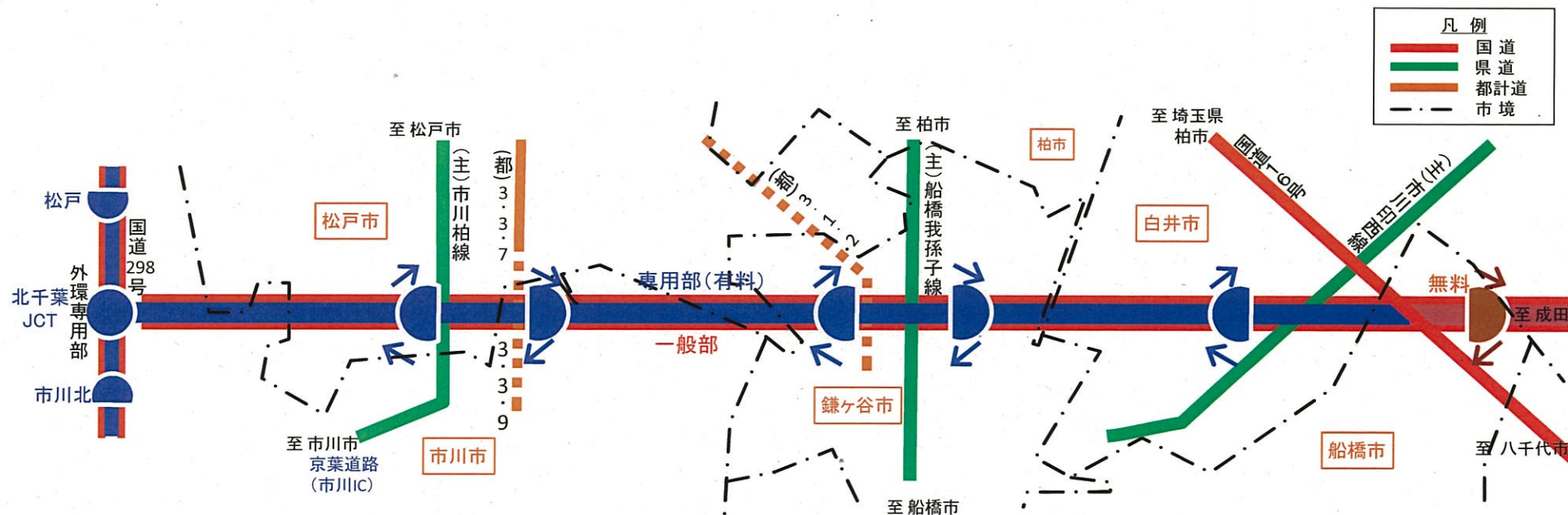
標準横断面図

(単位:m)



### 3. ⑤連結位置・構造【外環～国道16号】

- 計画ルート周辺は、市街化が進んでいる地域であり、用地取得面積を少なくすること等を勘案しダイヤモンド型ICの計画とする。
- ICの配置は、交通上の拠点と目される都市に連結する主要道路あるいは計画道路が交差する主要道路との交点に設ける計画とする。



### 3. ⑥都市計画変更手続き及び今後の検討課題等

#### ● 都市計画変更手続きについて

- 概略計画に基づき、都市計画変更に向けた具体的な手続きに、今後県が着手。

#### ● 今後の検討課題

- 都市計画道路3・3・9、3・1・2等の北千葉道路と交差する都市計画道路については、県、沿線市において、北千葉道路に合わせた整備を検討。
- 自転車道の整備に向け、県、沿線市において、自転車ネットワーク計画への位置付けについて、調整を図る。
- 印西～成田間(事業中区間)の速達性・定時性確保の手法について、引き続き県にて検討。

#### ● 情報発信

- 県、沿線市が連携し、引き続き地元への情報発信を実施。

※国、県、沿線市で連携し、地域との合意形成を進めながら実施。